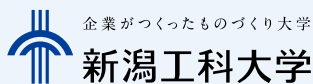


CASE  
No.27



企業がつくったものづくり大学

新潟工科大学

## 自然災害が多い日本の建築物を、構造設計でチェンジ!

新潟工科大学で建築物の「構造設計」分野を研究している五十嵐賢次准教授。

「構造設計」とは、建物の柱や梁の大きさ、太さなどを計算・設計し、積雪や地震などに対する安全性を満たすために必要な分野で、デザイン的な処理も求められます。

### 地震や豪雪など、様々な自然災害にも強い建築物を

最近では特に自然災害に対する研究に力を入れており、防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター(長岡市)に観測小屋を設置し、雪に強い建物を作るためのデータを集めています。

五十嵐准教授は、2013年から新潟工科大学で教鞭をふるっていますが、以前は県内の建設会社に勤務していました。

新潟県中越地震、中越沖地震の際には、被災地に向き被害のチェック業務にあたる中で、改めて構造設計の大切さを実感したと言います。

### 見えにくい部分だからこそ安全性に優れた構造を設計

構造分野へ進んだきっかけについて五十嵐准教授は、「実は工業高校時代は設計士を目指していたのですが、図面を描く授業で、うまく書けなかったんです。

それを先生に相談したら『構造という分野もあるよ』と教えてもらったことが始まりですね。

それ以来、構造一筋です(笑)」と、分野は違えど、設計への強いこだわりを教えてくださいました。

構造デザイン研究室で学ぶ学生へ対しては、自身が培った知識はもちろん、大学卒業後、業界人として大切にしてほしいことなども伝えていきます。会社員としての経験がある五十嵐准教授だからこその切り口です。

「私たちの研究は、普段なかなか目にする機会はありませんが、大小問わず全ての建物に生かされています。建築においてとても重要な分野を担っている」と自負しています。

五十嵐准教授が取り組んでいる研究は、この先さらに進化して、安全性とデザイン性を兼ね備えた新しい建築物に生かされることでしよう。

橋梁などで見られる「トラス模型」です。指で押したりして、力のかかり具合等を確認するために使用します。

### Key Person

新潟工科大学 構造デザイン研究室

五十嵐 賢次さん  
准教授

#### 市民の皆さんにひとこと

市内企業の皆様へ、学生のインターンシップのお願いをさせていただくことがあるかと思います。その際には快く受け入れていただければ、幸いです。



強度を計る正確な数値が研究の要です



新潟工科大学から  
お知らせ

大学HP



### 科目等履修生を募集

- ▼入学資格：●工学部・高等学校・中等教育学校を卒業した方、またはこれと同等以上の学力がある方 ●大学院工学研究科・大学を卒業した方、またはこれと同等以上の学力がある方
- ▼出願期間：●前期入学(4月1日) 2月28日(月)まで ●後期入学(9月下旬) 8月31日(水)まで
- ▼授業料：1単位2万円×単位数※テキスト代などにかかる費用は自己負担
- ▼出願手続：出願期間中に次を直接または郵送で新潟工科大学学務課(〒945-1195 藤橋1719)へ
- ①入学願書(大学指定用紙) ②履歴書 ③医師の健康診断証明書 ④最終出身学校の卒業証明書と学業成績証明書 ⑤検定料5千円(指定口座へ振込)
- ▼新型コロナウイルス感染状況により遠隔授業となる場合があります。
- ▼問い合わせ先/学務課 TEL 22-8101



新潟産業大学から  
お知らせ

大学HP



### 卒業生を招いてパネル

ディスカッションを実施しました

11月29日(月) 2年生対象の授業「キャリアデザインII」において、県内企業に勤務する本学卒業生4名を招へいし、パネルディスカッションを実施しました。参加した学生からは、「今まで就職先として考えていなかった業種でも、話を聞いて視野を広げる必要があると思った」「新潟県内に魅力的な会社があることが分かった」といった感想が多くみられました。貴重なアドバイスを体験談を、キャリアアップに活かしていただくことを期待します。

